

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年11月25日

計画の名称	飯能市公共下水道強靱化計画（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	平成29年度～平成32年度（4年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	飯能市													
計画の目標	大規模地震の発生に備え、強靱な下水道施設を整備し、下水道の機能を確保する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		170	A	170	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	飯能市浄化センターにおける人命の確保及び簡易機能の確保に向けた地震対策実施率を、0%（H29当初）から67%（H32末）に増加させる。 飯能市浄化センターにおける人命の確保及び簡易処理機能の確保に向けた地震対策実施率 人命の確保及び簡易処理機能の確保に向けて耐震化された施設（施設）/ 人命の確保及び簡易処理機能の確保に関する施設（3施設）	0%	33%	67%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
A07-002管路施設地震対策事業については、平成30年度から社会資本総合整備計画（計画名：飯能市公共下水道）へ移行となる。移行先の計画が平成31年度で終了した後に、一括で事後評価を行う。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	終末処 理場	改築	飯能市浄化センター地震 対策事業	管理本館、塩素混和池の耐震 設計及び地震対策工事	飯能市						141		策定済	
		総合地震																		
	A07-002	下水道	一般	飯能市	直接	飯能市	管渠(汚水)	改築	管路施設地震対策事業	管路施設の耐震診断 L=5.5km	飯能市							29		策定済
		総合地震																		
												小計						170		
											合計						170			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
飯能市下水道事業審議会運用により、令和2年11月に実施した。	令和2年11月19日
	公表の方法
	市のホームページへ記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯能市浄化センターにおいて管理本館の耐震工事を実施したことで、大地震発生時の人命確保へ寄与することができた。</li> <li>・飯能市浄化センターにおいて塩素混和池の耐震工事を実施したことで、大地震発生時の消毒機能を確保することができた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大地震発生時の簡易処理機能を確保するため、今後も飯能市浄化センターの耐震工事を継続していく。</li> <li>・管路施設地震対策事業については平成31年以降分を別計画の「飯能市公共下水道」へ引き継いで実施していく。</li> </ul>	

